

# 子どもたちの育成のため協議会を設立

民間教育団体連絡協議会

公益社団法人全国学習塾協会などの民間教育団体5団体は、「民間教育団体連絡協議会」を設立した。未来をつくる子どもたちや子どもたちの将来のために、それぞれの民間教育の垣根を越えて、社会への貢献・未来への貢献を推進し、その存在価値を高めるのが狙い。同協議会は当初、全国学習塾協会のほか、一般社団法人全国外国語教育振興協会、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、同日本スイミングクラブ協会、民間語学教育事業者協議会でスタートし、今後、加盟団体を増やしていく予定。10月26日に開いた設立総会では役員の選出が行われ、全国学習塾協会の安藤大作会長が幹事長に選ばれた。

学校教育との両輪としてこれまで大きな役割を担ってきた民間教育は、近年、日本の教育の国際化や主体性と創造性をもった未来の人材育成の観点から、その重要性が高まっている。教育基本法第12条では「個人の要

望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国および地方公共団体によって奨励されなければならない」とあり、多様化する個人の教育ニーズや社会が要請する有為な人材の育成で、教育サービスを提供

するさまざまな民間教育サービスプロバイダーは、今や日本にとって必要不可欠な教育資源となっている。

こうした背景から同協議会では、民間教育団体や民間教育事業者のプラットフォームを構築して民間教育に関わる人々のネットワークを形成し、さまざまな教育課題について情報共有や意見交換などを行っていく。

設立総会後の記念パーティーで、ピアノ指導者協会の福田成康専務理事が「昨年からのいろいろな団体に声をかけてきて、その中で本日、まずは5団体で民間教育団体連絡協議会が発足した。今後、ますますメンバーを広げて影響力を高めていき



公益社団法人全国学習塾協会会長 安藤大作氏

い」と開会の辞を述べた。その後、安藤幹事長が「10年先、20年先の子どもの生き抜く未来に想いを馳せたときに、大人たちの事情は乗り越えましょうという声のもとに、1年間の協議を重ねて本日発足した」とあいさつ。また「協議会をつくるのが目的ではない。やれることを堂々と一歩前に踏み出しているいろいろな方とつながって、子どもたちのために大人の事情を乗り越えていく気概をもって、真剣に教育に向き合っ

た子どもたちを未来に送り届ける。子どもたちのために存在価値を示していきたい」と力強く語った。パーティーにはこのほか、下村博文衆議院議員、大島九州男参議院議員、経済産業省の藤木俊光商務情報政策局商務・サービス審議官、文部科学省の清水明総合政策局局長らが出席し、祝辞を述べた。藤木審議官は「連絡協議会を通じて新しい教育のイノベーションにチャレンジしていく、それによって日本の教育を変えていく、ということにトライしてほしい」と期待感を示し、清水局長は「ジャンルを超えて協議会を設立し、子どもたちの育成のために社会貢献をしていくことに敬意を表する」と話した。



左から一般社団法人全国外国語教育振興協会事務局長 桜林正巳氏、民間語学教育事業者協議会副理事長 矢野三登志氏、一般社団法人日本スイミングクラブ協会専務理事 澁谷俊一氏、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会専務理事 福田成康氏